

商工労働エネルギー委員会

業者支援

家賃補助など 県独自の支援策を

松田県議が、「損失4億3千万」（ホテル）、「売上げの大半を締める春と夏の祭りがなくなり絶望している」（露天商）などの声を紹介し、家賃補助など県独自の支援を要求。業者に希望が見える県のとりくみが待たれている、と力を込めました。

■県の融資の利子は無利子に

県が独自にとりくんでいる融資制度（サポート資金）は、利率0・9%からゼロ金利に改善されます。松田県議は、窓口が3市に限られている国の融資制度と違い、全県で活用できる県のサポート資金を改善することは業者支援の力になると強調。また、税金の滞納があった場合でも利用できるように求めました。

雇用維持へ

雇用を守るため 支援策を

雇用の維持も喫緊の課題です。また内定取り消しもあつてはなりません。松田県議は、次のように雇用調整助成金の改善を求めました。

- 雇用調整助成金の改善を
- ▽申請書類を簡便に
- ▽審査を後回しにするなど「まず救済」を原則に

ワンストップの 相談窓口の設置を



環境厚生委員会

医療機器

医療守るカギ 手配急いで

「医療崩壊をおこさないために、医療機器の配備と医療提供体制の準備が急がれる」とよしま県議が質問しました。カウンやマスクなど、医療用の防護具も不足しています。一刻も早く必要数が現場に届くように求めました。

生活支援

国保等の保険料 軽減へ支援

生活支援もまたなします。よしま県議は、▼学生の住宅確保について、▼国保や介護の保険料軽減について、▼DV被害や児童虐待から県民を守る対策について質問しました。



生活支援のための諸制度は、テレビやネットなどで大宣伝を

農林水産委員会

一次産業

深刻な影響 支援厚く

安藤県議は、農林水産業の中でも、コロナによる影響が深刻な肉用牛とホタテの問題についてとりあげました。

肉用牛経営は、消費税増税と日米貿易協定などに加え、コロナ被害による外食産業の冷え込みなどにより価格下落が起きています。安藤県議は、「一サ代月60万円、経費100万円。価格下落の影響は深刻」という横浜町の農家の声を紹介。県も「切実な声。重く受け止めた」と答弁しました。



外国人技能実習生に代わる農業労働力確保へ
コロナ休業の労働者の受け入れ体制スタート